

「支え愛」のあるまちづくり



浅羽・笠原まちづくり協議会
生活支援ネットワーク



私たちの組織は、民生児童委員の一部グループの企画から住民代表を交え1年8か月の検討を経て設立し、活動開始から5年半になります。

累計利用登録者は183人（現在在籍146人）支援員102人、相談員17人。

私たちの組織と活動には5つの特徴があります。

1. 住民が自主的に企画し地縁組織に提案し、地域を挙げた組織としたこと。
2. 活動圏域が、5連合自治会・37自治会・8,100世帯・21,000人の人口と、比較的広域・大規模であること。
3. 地縁組織を巻き込み、市の各部署と連携しつつも、会の運営は会議やイベント、事務局まですべてボランティアにより自ら行っていること。
4. 市に制度設計を要請し、まちづくりモデル事業交付金と介護保険による住民主体の事業補助金他の獲得にこぎつけ財務基盤を作ったこと。
5. 地域に止まらず、設立当初から市や社協と連携して、他地区に事例発表に出向くなど、こうした生活支援組織の市内外への波及に努めていること。



マイカーによる外出付き添い支援

活動の目的は、「困りごとの解消」だけでなく、「まちづくり」にあります。少子高齢化と核家族化による地域の関係性の希薄化、一方で生産年齢人口の縮小による社会保障予算の減少。そうした状況で打ち出された「地域包括ケアシステム」でもその終着駅は「住民主体の生活支援（互助）」です。

3年目には「マイカーによる外出支援」を実現し、5年目には「災害時避難支援体制構築」の企画をしました。今後もこの活動を通じて地域住民をつなぎ、地域の諸活動をつなぎ、よりよいまちづくりを推進していきます。



草刈り・草取り支援



2020年発会式